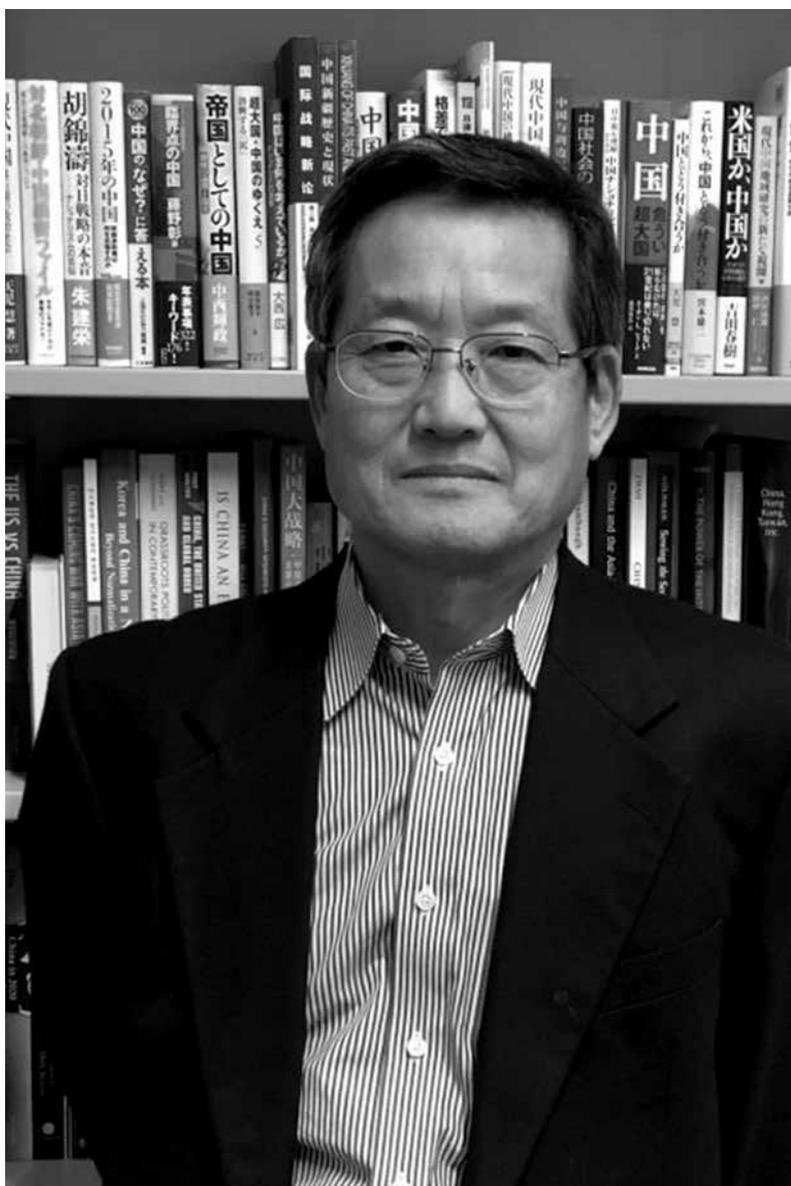


[085_03-04] 法政研究表紙奥付

<https://hdl.handle.net/2324/2230980>

出版情報：法政研究. 85 (3/4), 2019-03-08. 九州大学法政学会
バージョン：
権利関係：



九州大学教授 李弘杓 先生

李弘杓先生は、一九五三年四月二〇日に大韓民国ソウルで生まれ、一九七五年に延世大学を卒業、一九八〇年にコネチカット大学 (University of Connecticut) にて政治学修士号を取得し、一九八九年にインディアナ大学 (Indiana University) にて「自立を背景とした石油開発―一九六〇年以降の中国の政策変容」で政治学博士号を取得された。その後は、中国政治と東アジア国際関係に関する韓国における専門家として、一九八九年から国民民間経済協議会(一九九二年より対外経済政策研究院)で中国専門委員を、一九九二年から世宗研究所とセミン研究財団で研究員を務められた。日本においては、一九九九年に国際大学 (IUJ)、二〇〇〇年に横浜国立大学国際経済社会科学部にて客員教授を務められ、二〇〇〇年八月に名古屋大学大学院法学研究科助教に就かれたことで、日本での研究・教育を本格的に開始した。その後、二〇〇四年三月に九州大学大学院法学研究院に政治動態分析講座政治史・外交史の助教として着任され、二〇一〇年に同教授に昇進された。

李先生の研究領域は、中国政治、東アジアの国際政治が中心で、中国の政治体制と政治過程、日中・米中などの二国間関係、東アジア地域主義、東アジアの安全保障など多岐に亘る。代表的な著作として、共著『朝鮮半島―危機から平和構築へ』(二〇〇四年)や『二世紀の安全保障と日米同盟体制』(二〇〇五年)などがある。特に、韓国人として中国についてアメリカで学び、日本で研究活動を行うというご自身の経験を生かして、東アジアの歴史認識問題の研究にも取り組まれ、この成果は共著『東アジアの歴史摩擦と和解可能性』(二〇一一年)にまとめられた。

教育面では、九州大学大学院法学府の国際コースであるCSPA(アジアにおける比較政治・行政学)プログラムを担当され、世界各国から集まった留学生に対して英語で授業と論文指導を行ってきた。二〇一〇年一〇月からは同プログラムのディレクターを務められ、延世大学、中国人民大学、上海外国語大学等との学生交流を毎年企画、開催された。また、学術交流においても、韓国の亜洲大学社会科学部と計一二回にわたるシンポジウムを開催されている。こうした活動を通じて、九州大学法学研究院の国際化に多大なる寄与をされてきた先生の功績は計り知れない。

ユーモアに富んだお人柄で、テニスやカラオケを嗜み、ソフトバンクホークスとお酒が大好き。そんな李弘杓先生がこのたび定年退職を迎えられるにあたり、長年のご功勞に心より感謝申し上げますとともに、先生の益々のご健勝とご活躍を祈念して、ここに本号を献呈する次第である。